

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村幸牧師

電話(714)527-1456

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「感動の降誕劇」

一昔前、アメリカの田舎の教会であったお話しです。毎年、教会学校の子ども達による、降誕劇がクリスマス祝会の最後を飾る晴れ舞台でした。村人にとっては、この降誕劇を観るのが大きな喜びでした。教会学校の子ども達も、クリスマスに合わせて、およそ3ヶ月前から劇の練習に入りますが、その前に、配役を決めました。でも一人だけ役をもらえずに帰って行った男の子がいました。この子は発達障害を持っていたので、役を与えられなかったのです。でも、なんとかこの子にも晴れの舞台に立って欲しいと思ひ、先生達は、その子の為に役を作りました。「家畜小屋付きの宿屋の主人」です。男の子は喜びました。セリフは一言だけ。「ダメだ。ダメだ。部屋はないよ」。そして、人差し指で馬小屋を指す。それだけの役です。3ヶ月の練習後、いよいよクリスマスになり、村人も教会に集まって来ました。清らかな讃美歌を歌い、持ち寄った食事をした後、いよいよ、クリスマス祝会のメインイベントの降誕劇が始まりました。日が暮れたベツレヘム、長旅に疲れ果てたヨセフとマリア、行くところ行くところの宿はいっぱいで断られます。疲れ果てたヨセフとマリアは、この男の子の宿屋にやって来て、「私たちを泊めてくれませんか」と尋ねたのです。男の子は、日頃から練習しているセリフを大きな声で、「ダメだ。ダメだ。部屋はないよ」と断ります。重い足を引きずるようにヨセフとマリアは、男の子が指さした馬小屋に歩き出しました。その後ろ姿を見ていた男の子の目に涙があふれ、ワアと泣き出すと、ヨセフとマリアにしがみついて、「馬小屋に行かないで僕の家泊まって！」と叫びました。あわてた先生達が舞台の上に跳びあがり男の子を引き離し、降誕劇は中断しました。しかし、小さな教会学校の歴史の中で、これほど感動させられたクリスマスはなかったと言われているそうです。

もし、この男の子が発達障害者でなかったら、このような感動的なクリスマスにはならなかったであろう。たとえ、その人が低く見られようと、その人には、その人にしかない素晴らしい特性がある。「あなたは同じ扱いをなさいました」(マタイ二十一・12)とは聖書の言葉である。全ての人が神の目には同じ愛の対象だと言いたいのだ。私たちがそのような隣人を見たいものである。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村幸牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしています。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。